

第2学年 A 組 国語科学習指導案

授業者 鎌田 佳佑
研究協力者 成田 雅樹、高橋 菜由
教材研究協力者 岡 英里奈

1 単元名 なりきって読もう「スイミー」

2 子どもと単元

(1) 子どもについて

「ふきのとう」の学習では、登場人物たちの気持ちを読む場面において、登場人物になりきり、ロールプレイを生かして読む手立てを提示した。すると、登場人物の様子を動作化する活動に意欲的に取り組み、登場人物の気持ちを具体的に想像しながら物語を読み深めていく子どもたちの姿が見られた。

読解の場面では、動作化を読み取りに生かしている子どもの姿が見られたものの、「楽しいから体を動かしてみる」、「みんながやっているから、とりあえず体を動かしてみる」というように、読み取りの共有に前向きになれない姿も見られた。

また、普段の生活においては、同じ学級で過ごしている友だちの立場や気持ちにまで考えが及ばずに発言してしまったり、うまく伝えられなかったりする場面も見られる。

これらのことから、学習場面や生活場面の両面において、他者の気持ちを汲み取りつつ、考えを比較・検討して交流できていないという実態があると考えられる。

(2) 単元について

教材文「スイミー」では、主人公であるスイミーの周りで起きた様々な出来事や海底の様子が、比喻表現の多用によって鮮やかに描写される。また、第二学年の指導事項にはそぐわないものの、スイミーが泳ぐ海の明暗を生かした情景描写もある。これらの表現の工夫を基に、スイミーの変化していく気持ちを想像する楽しさを味わうことができる。文章には具体的に記されていないスイミーの気持ちを読み取るためには、一つ一つの表現の工夫を丁寧に読み、考察する必要がある。そこで、演劇的手法を取り入れた話合いを適宜行うことにより、「スイミーの視点から見える作品世界の変化」をより具体的に想像して読むことができる可能性がある。本教材は、スイミーの気持ちを表す叙述は少ないものの、スイミーの視点から捉えた海底の様子を読むことで、気持ちの変化を豊かに想像することができる。演劇的手法を用いて自他の読み方を可視化し、比較・検討することで、漠然と読み取ってきたことに対してより明確な理由付けがなされていくと考える。

子どもたちが「作品世界を読み味わいながら、叙述を基にスイミーの気持ちに迫っていく」という明確な目的をもって学習活動に参加し、他者の気持ちに想像を巡らせながら読む子どもたちの姿を期待し、この単元を設定した。

(3) 指導について

本単元では、**文章中の描写を根拠に、主人公の気持ちを想像して読む**という資質・能力を高めることを目指す。文章中に散りばめられた描写を丁寧に読み取ることで、主人公の気持ちを具体的に想像して読むことができると考えるからである。そこで、ロールプレイによって具体化された読みを、ホットシーティングを通して更に深めていく話合いの場面を設ける。

ロールプレイやホットシーティングを用いた話合いを、それぞれの子どもたちの解釈をすり合わせながら進められるようにしていきたい。そのために、話合いの場面ではスイミーの気持ちに対する解釈が異なる複数の子どもの意見に着目し、適宜取り上げながら比較・検討していく。それによって自分と友達の読み方が異なることに気付くことができる。また、自らの解釈の根拠となる叙述を示す場を設けることで、的確かつ、深い読みに向っていくことができると考える。

また、物語のクライマックスに向けてスイミーの気持ちに変化していくことは、気持ちを表す言葉によって直接的に表されているだけではなく、本文中に散りばめられた表現の工夫によっても表されているということについて、単元を通して気付かせていきたい。

3 単元の目標〈記号は本校の資質・能力表による〉

(1) 場面ごとの中心人物の気持ちを想像しながら読み、その変化を把握することができる。

〈C-6, 19, 38, 39〉

(2) 比喻を中心とした表現の工夫を読み取り、強調されていることを捉えることができる。

〈C-58〉

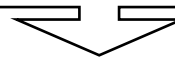
(3) 文中の表現を基に、登場人物の気持ちに対する想像を広げながら読もうとする。

〈エ〉

4 単元の構想

ふきのとう

文章中の叙述を根拠にしなが、人物の行動の様子やその意味を考えたり、気持ちを想像したりする。

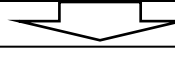


単元の構想（総時数 11 時間）

| 時間 | 学習活動 (・は予想される子どもの姿) | 教師の主な支援 | 評価〈本校の資質・能力との関連〉 |
|------------------------|--|---|---|
| 1 | (1) 初読の感想を交流する。 ・なんでスイミーは助かったのかな。 ・「ミサイル」ってどんな様子かな。 | ・問いを基に学習計画を立てられるように、疑問を書くことを確かめる。 ・各場面の様子を具体的に読むことができるように、演劇的手法を用いて学習していくことを提案する。 | ・物語の展開や内容に着目して初読の感想をもっている。 〈C-39〉 |
| 2 | (2) 単元の見通しをもつ。 ・まぐろから逃げた後、スイミーはどうして元気になったのかな。 ・スイミーになりきってみると、様子が分かりやすくなりそうだ。 | ・子どもの問いを基に学習を進められるように、物語の展開に関わる疑問を解決しながら、構成を確かめる。 | ・初読の感想や疑問を基に学習を進めていく見通しをもっている。 〈C-39〉 |
| 3 4 | (3) 物語の場面を捉える。 ・まぐろから逃げた後、スイミーはいろいろなものに出会ったんだね。 ・大きな魚みたいに泳げるようになるまで、どれくらい練習したのかな。 | ・物語を通して、スイミーの気持ちが変わっていったことが分かるように、時間経過とともに場面が分かれていることを確かめる。 | ・物語の展開に応じたスイミーの行動や場面の様子の変化を把握している。 〈C-19, 38〉 |
| 5 6 | (4) 物語中に使われている表現の工夫によって表されていることを読む。 ・「ミサイルみたい」って言葉があると、まぐろの怖い様子がよく伝わるね。 ・「ゼリー」や「ドロップ」みたいなものがある海って、きれいだろうな。 | ・比喩表現の効果を実感できるように、比喩を使った場合と使わない場合では、それぞれどのような印象を受けるか検討する場を設ける。 ・情景描写の工夫に気付いた子どもがいる場合、その意見を適宜取り上げてその効果を検討する場を設ける。 | ・比喩を中心とした表現の工夫によって、スイミーの気持ちが表されていることを理解している。 〈C-58〉 |
| 7 8 9 本時 8 | (5) 場面ごとのスイミーの気持ちについて、読み取ったことを交流する。 ・2の場面、暗い海の底を泳ぐスイミーはきっと心細かっただろうな。 ・「大きな魚みたいに泳ごう」と決めたとき、不安じゃなかったのかな。 | ・スイミーの気持ちや場面の様子を正確に想像できるように、適宜ロールプレイを用いながら、読み取ったことを可視化して交流できるようにする。 ・スイミーの気持ちを読み込んでいくための効果的な話合いができるように、ホットシーティングによる対話の手順を確かめ、活動の目的や効果を確認する場を設ける。 | ・場面ごとの叙述を根拠にして、スイミーの行動を読み取ったり、気持ちの変化について想像したりしている。 〈C-6〉 ・本文中の叙述を基にした話合いを通して、スイミーの気持ちに対する想像を広げて読もうとしている。 〈エ〉 |
| 10 11 | (6) 本時のまとめをする。 | ・これまで読み取ってきたことを振り返りながらまとめることができるように、ポスターや紙芝居、劇といった、子どもたちの関心に即したまとめ方ができるようにする。 | ・物語の展開やスイミーの気持ちの変化について読み取ったことを振り返り、学習のまとめをしている。 〈C-39〉 |

◎本単元で主に育む資質・能力

文章中の叙述を根拠にしなが、人物の行動の様子やその意味を考えたり、気持ちを想像したりする。 〈C-6〉



お手紙

登場人物の会話や行動に即しながら、それぞれの登場人物の性格を押さえ、それらの人物像を読む。 〈C-40〉

5 本時の実際 (8 / 11)

(1) ねらい スイミーの気持ちが表れている叙述や表現の工夫に着目し、大きな魚のように泳ごうと提案した場面について、ホットシーティングを用いて話し合う活動を通して、スイミーの気持ちの変化を読み深めることができる。 (C-6)

(2) 展開

○自律的に学習を進めるための支援

| 時間 | 学習活動 | 教師の支援 |
|-----|---|--|
| 7分 | <p>① 学習問題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 四のばめんのスイミーになりきって、スイミーの気持ちを考えよう。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動に見通しをもつことができるように、前時まで演劇的手法を活用した話合いを通してスイミーの気持ちを読み取ってきたことを振り返る。 |
| 10分 | <p>② ペアでのホットシーティングを通して、第四場面のスイミーの気持ちについて解釈をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二の場面までは落ち込んでいたけど、三の場面ですてきなものに出会って元気になったはずだよ。 ・大きな魚に食べられないようにするために、スイミーはとても悩んだんじゃないかな。 ・きょうだいたちに作戦を伝えるとき、うまくいか不安だったと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○明確な目的意識をもって話し合うことができるように、ホットシーティングの手順と目的を確かめる。 ・スイミーの気持ちに着目して話し合うことができるように、どのような質問をすればよいか確かめる。 |
| 22分 | <p>③ 第四場面のスイミーの気持ちについて、ホットシーティングを用いて全体で話し合う。</p> <p>【予想される質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして、きょうだいたちを岩かげから連れて行こうと思ったの。 ・大きな魚を追い払う作戦を考えていたとき、どんなことを考えていたの。 <p>【叙述や表現を基に回答を考えている子ども】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きょうだいたちが食べられたときは、とても落ち込んだけど、元気がでるようなものを見て、新しいきょうだいにも見せてあげたいと思ったんだ。 ・このままだと、ぼくたちは大きな魚からずっと隠れて過ごさなきゃいけなくなるから、必死に作戦を考えたいよ。 ・新しいきょうだいたちが食べられるのはいやだから、上手に大きな魚に見せかけられるように、みんなと作戦を確かめたよ。 <p>【叙述に即さない回答を考えている子ども】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きょうだいたちといっしょに、ずっと岩かげに隠れていれば安全だな。 ・あたらしいきょうだいたちと会えて、これでまた平和にさせると思ったよ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・叙述を解釈の根拠として示すことができるように、叙述に沿った質問や応答をすることを確かめる。 ・スイミーの気持ちについて読み取ってきたことを共有できるように、ペアでの話合いで叙述や表現の工夫を基にスイミーの気持ちを考えていた子どもを取り上げ、全体でホットシーティングを行う。 ○質問者と発表者の子どものやりとりを積み重ねながらスイミーの気持ちに迫ることができるように、一つの話題について、複数の質問者がさらに掘り下げて問い掛けられるような言葉掛けをする。 ・叙述に即した回答ができるように、拡大掲示した本文に傍線を引き、回答した内容の根拠を示しながら話し合うことができるようにする。 |
| 6分 | <p>④ 本時の話合いから分かったことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スイミーの気持ちは3の場面で海の中のすばらしいものを見つけたり、きょうだいたちと一緒に大きな魚に立ち向かったりすることで変わってきたことが分かった。 ・新しいきょうだいたちと出会って、ただ安心していただけじゃなかったんだな。 | <ul style="list-style-type: none"> ・話合いで深まった読みをまとめられるように、振り返る視点を示す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>スイミーの気持ちの変化について、話合いを通して読み深めている。</p> <p>(C-6) (発言・振り返り)</p> </div> |

| | | | | | | | | | | |
|----|---|-------|--------|--------|---|---|---|---|---|---|
| 8 | ひとまとまりの語や文として音読する。 | 知(1)ク | 知(1)ク | 知(1)ク | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 9 | 言葉の響きやリズムなどに注意して音読する。 | 知(1)ク | 知(1)ク | 知(1)ク | □ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 10 | 強弱や間の取り方、抑揚の付け方などに注意して、読み取ったことがよりよく伝わるように音読する。 | 知(1)ク | 知(1)ク | 知(1)ク | □ | □ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 11 | 文章全体の内容や構成からその中心を把握し、軽重や速さなどを考えて音読する。 | | 知(1)ク | 知(1)ク | | | □ | ■ | ■ | ■ |
| 12 | 七音五音を中心としたリズムから国語の美しい響きを感じ取りながら音読したり暗唱したりする。 | 知(3)ア | 知(3)ア | 知(3)ア | □ | □ | □ | ■ | ■ | ■ |
| 13 | 語り手や登場人物の人物像をとらえ、どのように語りたかを決め、声の大きさ、声の質や速さ、間の取り方などに気を付けて音読する。 | | 知(1)ク | 知(1)ク | | | | □ | ■ | ■ |
| 14 | 文章全体に対する思いや考えをまとめ、そのことを相手に分かってもらえるように表現性を高めて朗読する。 | | | 知(1)ク | | | | | □ | ■ |
| 15 | 目的に応じて、「比べ読み」「速読」「摘読」「多読」など多様な読み方を選択し、活用する。 | | | 知(1)ク | | | | | □ | ■ |
| 16 | 書かれている事柄の違いを比較することで、その意味が分かる。 | C(1)ア | C(1)ア | C(1)ア | □ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 17 | 説明されている事柄の位置関係や構造を、図示したりしながら正確に理解する。 | C(1)ア | C(1)ア | C(1)ア | □ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 18 | 事柄の原因と結果の関係が分かる。 | C(1)ア | C(1)ア | C(1)ア | □ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 19 | 話の筋や論理の展開が分かる。 | C(1)ウ | C(1)ウ | C(1)ウ | □ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 20 | 書かれていることの特異性と一般性、具体性と抽象性の類別をして、文章の構造や内容を理解する。 | | C(1)ウ | C(1)ウ | | □ | □ | ■ | ■ | ■ |
| 21 | 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら文章の大体を読む。 | C(1)ア | C(1)ア | C(1)ア | □ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 22 | 「問い」と「答え」という基本構成をとらえ、「問い」に対する「答え」を読み取る。 | C(1)ウ | C(1)ウ | C(1)ウ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 23 | 「始め」「中」「終わり」の文章構成をとらえ、中心となる文を手がかりに要点をまとめる。 | C(1)ア | C(1)ア | C(1)ア | | □ | □ | ■ | ■ | ■ |
| 24 | 「序論」「本論」「結論」の三部構成をとらえ、中心となる段落を手がかりに文章の要旨をとらえる。 | | C(1)ア | C(1)ア | | | | □ | □ | ■ |
| 25 | 累加や並列といった接続関係、具体的な事象と抽象的な事象、結論とその理由や根拠といった配列関係などの段落相互の関係をとらえながら読む。 | | C(1)ア | C(1)ア | | | □ | ■ | ■ | ■ |
| 26 | 中心となる語や文に注目して要点をまとめたり、小見出しを付けたりする。 | | C(1)ウ | C(1)ウ | | | □ | ■ | ■ | ■ |
| 27 | 筆者がどのような事実を原因や理由として挙げ、それについてどのような考えや意見を述べようとしているかをとらえる。 | | C(1)アウ | C(1)アウ | | | □ | ■ | ■ | ■ |
| 28 | 事実を説明している言葉の指し示す範囲に揺れがないかどうか考える。 | | C(1)アウ | C(1)アウ | | | | □ | □ | ■ |
| 29 | 文章に書かれている話題、理由や根拠となっている内容、構成の仕方、巧みな叙述などに注意して、求められている分量や表現の仕方に合わせて要旨をとらえる。 | | | C(1)ア | | | | | □ | ■ |
| 30 | 筆者の意図や思考を想定しながら文章全体の構成を把握し、自分の知識や経験、考えたことと関係付け、自分の考えを明確にしながらか読む。 | | | C(1)アオ | | | | | □ | ■ |
| 31 | 文章構成を区分することによって、文章の要旨や主題を的確にとらえる。 | | C(1)アウ | C(1)アウ | | | □ | ■ | ■ | ■ |
| 32 | 図表や、絵、写真等が、どのように文章を補っているかを考えながらか読む。 | | C(1)ウ | C(1)ウ | | | □ | □ | ■ | ■ |
| 33 | 筆者の書き方の工夫やよい点・不十分な点を考えながらか読む。 | C(1)ウ | C(1)ウ | C(1)ウ | □ | □ | □ | □ | ■ | ■ |
| 34 | 筆者の主張の根拠が適切かどうか考えながらか読む。 | | C(1)ウ | C(1)ウ | | | | □ | □ | ■ |
| 35 | 結論と具体的事例の整合性を判断しながら読む。 | | C(1)ウ | C(1)ウ | | | | □ | □ | ■ |
| 36 | 筆者の推論や解釈、例示などの妥当性を吟味しながら読む。 | | C(1)ウ | C(1)ウ | | | | □ | □ | □ |
| 37 | 物語に共感し、書かれていることの実偽や善悪、美醜、有用・無用の判断をしながら読む。 | C(1)イ | C(1)イ | C(1)イ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 38 | 事柄や人物の設定(誰がいつどこで何をした)が分かる。 | C(1)イ | C(1)イ | C(1)イ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 39 | 物語の展開に即して各場面の様子が変わったり、中心となる登場人物の行動が変化したりしていくことを把握し、その様子を想像しながら読む。 | C(1)イ | C(1)イ | C(1)イ | □ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 40 | 登場人物の行動や会話に即しながら、それぞれの登場人物の性格を押さえ、それらの人物像を読む。 | C(1)エ | C(1)エ | C(1)エ | □ | □ | □ | □ | ■ | ■ |
| 41 | 人物描写の特徴から、その人物のものの見方や考え方の特徴や言動の変化の意味を考える。 | C(1)エ | C(1)エ | C(1)エ | | □ | □ | ■ | ■ | ■ |
| 42 | 物語のクライマックスを見つけ、そこで起きている出来事から分かる強調点や変化の意味を考える。 | C(1)エ | C(1)エ | C(1)エ | □ | □ | □ | ■ | ■ | ■ |
| 43 | 各場面の様子に気を付けながら場面と場面を関係付けて読む。 | C(1)エ | C(1)エ | C(1)エ | | □ | □ | ■ | ■ | ■ |
| 44 | 物語や詩の描写を、想像力を働かせながらか読む。 | | C(1)エ | C(1)エ | | | □ | ■ | ■ | ■ |
| 45 | 書かれていることを基に問いをつくり、答えを仮定したり根拠となる言葉を探したりする。 | | C(1)イエ | C(1)イエ | | □ | □ | ■ | ■ | ■ |

| | | | | | | | | | | | |
|----|--|--------|--------|--------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 46 | 題名や見出しから、文章の主旨や主題を推察する。 | | C(1)イエ | (1)イエ | | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 47 | 情景描写の特徴から、作品主題との関連や人物のものの見方や考え方のありようを考える。 | | C(1)イエ | C(1)イエ | | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 48 | 一つ一つの事件・出来事の関連性から見出される意味を考える。 | C(1)エ | C(1)エ | C(1)エ | | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 49 | ストーリーの展開に気を付け、描写の特徴や言葉の象徴性など、読み取ったことがより豊かに伝わるように朗読する。 | | 知(1)ク | 知(1)ク | | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 50 | 登場人物相互の関係に基づいた行動や会話、情景などを通して暗示的に表現されている心情を読む。 | | | C(1)エ | | | | | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 51 | 句読点の打ち方の違いで文意が異なることが分かる。 | 知(1)ウ | 知(1)ウ | 知(1)ウ | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 52 | 反復が強調している事柄の意味が分かる。 | | | 知(1)ク | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 53 | 助詞や助動詞の違いで文意が異なることが分かる。 | 知(1)ウ | 知(1)ウ | 知(1)ウ | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 54 | 指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割が分かる。 | 知(1)カ | 知(1)カ | 知(1)カ | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 55 | 文末表現によって文の意味合いが変わってくるのが分かる。 | C(1)イウ | C(1)イウ | C(1)イウ | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 56 | 漢字・ひらがな・カタカナなどの表記の違いによって、多義的になったり、意味が限定されたりすることに気付く。 | 知(1)オ | 知(1)オ | 知(1)オ | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 57 | オノマトベ(擬声語・擬態語等)の表現によって強調される意味・内容があることが分かる。 | 知(1)オ | 知(1)オ | 知(1)オ | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 58 | 比喩表現(直喩・隠喩・擬人法等)によって強調されている意味・内容があることが分かる。 | 知(1)オ | 知(1)オ | 知(1)ク | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 59 | 省略、倒置、対句など、構成上の表現の工夫によって強調される意味・内容があることが分かる。 | | | 知(1)ク | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 60 | 使われている語彙・表現の多義性や象徴性を考える。 | | | 知(1)オ | | | | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 61 | 象徴性や暗示性の高い表現や内容、メッセージや題材を強く意識させる表現や内容などに気付き、それらを評価したり、自分の表現に生かしたりする。 | | | C(1)オ | | | | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 62 | 自分の思いや考えをもつことに強く影響した言葉や文を適切に書き抜く。 | C(1)オ | C(1)オ | C(1)オ | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 63 | 自分の考えをまとめるために、文章の要点や細かい点に注意して読み、引用したり要約したりする。 | | C(1)ウ | C(1)ウ | | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 64 | 感動やユーモア、安らぎなどを生み出す優れた叙述に着目して、自分の考えを感想文や解説文などにまとめる。 | | | C(1)カ | | | | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 65 | 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ発表し合い、交流する。(劇、話し言葉による発表・交流、書き言葉で表したものを読み合う) | C(1)オ | C(1)オ | C(1)オ | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 66 | 楽しんだり知識を得たりするために本や文章を選んで読む。 | 知(3)エ | 知(3)エ | 知(3)エ | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 67 | 身近な生活や自身の問題意識に基づいて選択する図書の分野を広げ、進んで読書しようとする。 | 知(3)エ | 知(3)エ | 知(3)エ | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 68 | 複数の読み物の内容から、共通点や違いを見つげながら読む。 | 知(3)エ | 知(3)エ | 知(3)エ | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 69 | 筆者や作者、ジャンルなどの関連を意識して、読書の幅を広げ、進んで読書しようとする。 | | 知(3)エ | 知(3)エ | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 70 | 同じ課題について違う筆者が執筆した本や文章、同じ筆者の複数の本や文章を選んで、読み比べる。 | | | 知(3)エ | | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 71 | 見出し・記事・写真の一貫性や「逆三角形の構成」など、編集の仕方や記事の書き方などに注意して新聞を読む。 | | C(1)ア | C(1)ア | | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 72 | 昔話や神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを聞いたり、発表し合ったりする。 | 知(3)ア | 知(3)ア | 知(3)ア | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 73 | 優しい文語調の短歌・俳句について情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりする。 | | 知(3)ア | 知(3)ア | | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 74 | ことわざや慣用語、故事成語などの意味を知る。 | | 知(3)イ | 知(3)イ | | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 75 | 親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章について、内容の大体を知り、音読する。 | | | 知(3)アイ | | | | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 76 | 古典の解釈文を読み、昔の人のものの見方や感じ方を知る。 | | | 知(3)イ | | | | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |

<国語科の学びを支える「見方・考え方」>

a 自分が伝えようとしている内容と言葉の関係に着目し、最も適した語句や表現技法を選び、その特長を活かして表現する。

b 語句の関係や表現技法の差異に着目し、文や文章表現の意味を豊かに、かつ具体的に理解する。

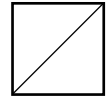
<領域の学びを深める「見方・考え方」>

話すこと c 音声の使い方、言葉や文末表現、表情などに着目して、その場に最も適切な表現を考える。

聞くこと d 相手の伝えようとする話の内容に着目して、自分の考えと比べるなどして共通点や相違点、関連などを整理しながら考えをまとめる。

書くこと e 目的や意図に応じた表現や文章構成になっているか、読み手の立場から、相手が読んで理解しやすいか考える。

読むこと f 構成や叙述に着目し、言葉や文を関係付けながら読む。



令和 8 年度 国語科実践・研究計画

部 員 ○鎌田佳佑 工藤優花 石井知徳

I 国語科における 自律した学習者の姿

- 1 自分に適した学びの道筋を選択し、進んで学びに向かいながら、言葉の力を高めている姿
- 2 根拠を基に自らの解釈や表現を吟味し、よりよいものにしていく姿
- 3 問いの積み重ねを基に、言葉に関する選択・決定を省察する姿

II 国語科における 授業デザインの取組

- A 個々の子どもに応じた学習材の提示や学習展開の工夫ができるように、授業の内外で子どもの姿を的確に見取る。
- B 自らの解釈や表現に対して、その解釈・表現に至った根拠をもって学びに向かうことができるような学習活動の工夫をする。
- C 自身の振り返りや、仲間と関わって得たことを基に、自分の考えはどのように変わったのか、問い直す場を設ける。

III 1・2 年次研究で生成した仮説

| | 問題解決に没頭する子どもの姿 (数字は、自律した学習者との関連) | 要因・手立て (英字は、授業デザインの取組との関連) |
|-----|--|--|
| 一年次 | 他の児童の役割演技を自分の役割演技と比較して、同じ教材文を読んでも、なぜ違う動きをしているのかを考えている姿 (1、2) | 役割演技の解釈の在り方を紹介し合っ て、根拠となる叙述について、その妥当 性を検討したり、新たな解釈を練ったり する時間を設定したこと (A、B) |
| | 十七音で自分の気持ちを伝えるた めに、よりよい言葉はないか表現を吟 味する姿 (2、3) | 一般的な知識ではなく、句会を通して 子どもたちがよいと感じた俳句を取り上 げ、共通点を「よい俳句の条件」として まとめたこと (A、B) |
| | どの本が主人公の心を動かすかに 重点を置き、主人公への願いを語りな がら自分の在り方を見つめ直す姿 (1、3) | 自分と物語を関わらせながら読むこと ができるように「主人公におすすめの一 冊を選ぶ」という学習活動を設定したこ と (B、C) |
| 二年次 | | |

IV 1 年次研究の課題と、改善するための手立て

| | 課題となった子どもの姿 (数字は、自律した学習者との関連) | 改善するための手立て (英字は、授業デザインの取組との関連) |
|-----|--|--|
| 一年次 | 役割演技や句会、選書などの言語活 動に取り組んでいるが、考えが深まら ない姿 (2、3) | 取り扱う言語活動について、子どもた ちの学習活動の中にどのような目的で位 置付けられているのか、どれだけ有効な 手段であるのかを子どもたち自身が理解 できるようにする。(A、B、C) 何度も文章を読み返す必要感のある活 動を設定する。(A、B) |